

6

3D 施工

線形を利用して計測位置の計画横断形状を表示し、水平離れ・垂直離れ・鉛直離れを確認しながら、位置の誘導や丁張の設置などをおこないます。

6-1 点検・検査（線形利用）をおこなう

計測位置と計画横断形状、線形、変化点までの離れを確認します。

- 1 ホーム画面の [3D施工] をタップします。

- 2 [点検・検査] をタップします。



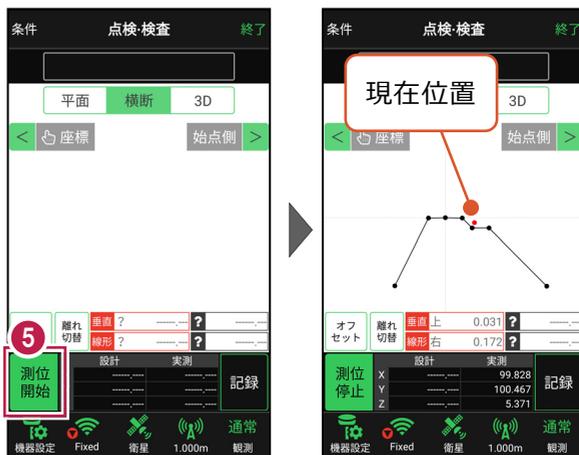
- 3 観測する線形、構築形状など条件を設定します。

- 4 [点検・検査] をタップします。
点検・検査が起動します。



- 5 [測位開始] をタップすると、GNSSによる測位が開始されます。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



以降の手順は

計測位置に移動して、横断形状との「垂直離れ」「線形離れ」、変化点までの「離れ」などを確認し、計測位置の座標の記録をおこないます。

詳しくは「基本操作」の「7 3D施工」の

「7-1 点検・検査（線形利用）をおこなう」を参照してください。